

配当年次・単位・授業形態	2年次	開講期	前期	必修	2単位	講義
授業科目(英名)	精神保健 (Mental Health)					
担当教員名	◎石川 幸代 [専任] 原田 瞳 [専任] 笠井 翔太 [専任]					(◎は科目責任者)
[授業の概要] 精神保健は、国民全体のメンタルヘルスを対象とし、精神障害の予防・治療、精神的健康の保持・増進を図る諸活動の全てを含む。この講義では、広義の全ての人を対象にした精神保健について学修します。						
[到達目標] 1. 心の健康と現代社会におけるメンタルヘルスについて理解できる。 2. 自分と社会について課題を見出し、自身の心の健康について考えることができる。 以上の2項目を目標とします。						
回	授業計画	授業外学修(事前学習・事後学習)				担当者
1	精神保健の概要と授業ガイダンス (すべての人を対象にした精神保健) ・心の健康について考えます。 授業の進め方のオリエンテーション	事前学習(90分):教科書の該当部分を精読し、精神障がい者について考えたことをまとめる。 事後学習(90分):学習内容をまとめる。				石川
2	現代社会と心の健康 ・課題学習 現代社会と心の健康について、個々の学生が事前学習で見出した課題を基に、グループでディスカッションを行い、グループとしての課題を決定します。	事前学習(90分):教科書・新聞記事、ニュース、トピックス等を検索し、課題を見出す。調べてノートにまとめる。 事後学習(90分):課題発表に向けて学習計画を立案する。				石川
3	現代社会と心の健康 ・課題学習 現代社会と心の健康についてのグループの課題をについて、グループメンバーで調べてきた内容の検討と情報共有を行い、グループとしての今後の方向性の修正や次週までの課題を確認します。	事前学習(90分):学習計画に沿って、前週に調べた内容をまとめる。 事後学習(90分):課題発表に向けてグループでディスカッションできるように意見をまとめる。				石川
4	現代社会と心の健康 ・課題学習 現代社会と心の健康についてのグループの課題をについて、グループメンバーで調べてきた内容の検討と情報共有を行い、グループとしての今後の方向性の修正や次週までの課題を確認します。 現代社会と心の健康についてのグループ発表に向けて、発表資料をまとめます。	事前学習(90分):学習計画に沿って、前週に調べた内容をまとめる。 事後学習(90分):課題発表に向けてグループでディスカッションできるように意見をまとめる。				石川
5	現代社会と心の健康 ・課題学習 現代社会と心の健康についてのグループ発表に向けて、発表資料をまとめます。	事前学習(90分):発表資料の作成に必要な内容をまとめる。 事後学習(90分):課題発表に向けてグループでまとめ発表準備を行う。発表資料を期日までに提出する。				石川
6	現代社会と心の健康 ・課題発表とまとめ グループごとに課題の発表をし、クラス全体でディスカッションを行います。 また発表をしたグループ、発表を聴いていたグループそれぞれが、発表についての振り返りを行います。	事前学習(90分):発表資料の作成に必要な内容をまとめる。 事後学習(90分):発表内容を振り返りまとめる。				石川 原田 笠井
7	現代社会と心の健康 ・課題発表とまとめ グループごとに課題の発表をし、クラス全体でディスカッションを行います。 また発表をしたグループ、発表を聴いていたグループそれぞれが、発表についての振り返りを行います。	事前学習(90分):発表資料の作成に必要な内容をまとめる。 事後学習(90分):発表内容を振り返りまとめる。				石川 原田 笠井
8	現代社会と心の健康 ・まとめ グループごとに課題の発表について振り返りを行い、「現代社会と心の健康」についてレポートをまとめます。	事前学習(90分):全グループの発表内容をまとめ、現代社会と心の健康について考える。 事後学習(90分):発表内容を振り返り、現代社会と心の健康について考察し、課題を明確にする。				石川
成績評価と基準	<ul style="list-style-type: none"> この授業は、学生が主体的に学ぶ意欲をもってそれぞれの課題にのぞみ、グループの話し合いの経過をもとにまとめていきます。また、発表は、他の学生に理解が得られるような工夫をしてまとめることを目標とします。 評価レポートの課題は、最終回の授業で提示します。与えられた課題を講義内容の視点と絡めて深く考察しているかどうかを評価します。 学習の意欲の把握を行うものとしてフィードバックシート20%、グループワークと課題レポート30%、最終レポート50%とします。 					
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> 新聞・テレビ・雑誌などメンタルヘルスに関するものを普段から興味を持ち、見たり、読んだりする中で自分なりに考える習慣を身につけることを目標とします。 毎回の授業を通して、自分について考える機会にし、心の看護に繋げて考えます。 ユニブルーブを使用し、出欠席管理を行います。 					
全学年を通しての関連科目	生涯発達論、家族社会学、公衆衛生学、社会福祉学の科目に関連し、看護の対象となる人々を社会の視点から個人・家族の側面から理解します。					
[ディプロマポリシーとの関連]	本科目は、看護学部ディプロマポリシーの3.6.8と関連しています。					
教科書	1. 吉松和哉 小泉典章 川野雅資編:精神看護学Ⅰ精神保健学, ヌーヴェルヒロカワ 2. 川野雅資監修:精神看護学Ⅱ精神臨床看護学, ヌーヴェルヒロカワ					
参考書・参考資料	授業内で適宜紹介します。					
オフィスアワー	石川幸代 水(13:00~14:00) 原田瞳 火(11:00~12:00) 笠井翔太 火(16:00~17:00)					